

平成30年度成果報告 産業観光課総括

1. 商工観光関係

- ・南木曾町観光協会の民営化については、理事会・専門部会（DC・民営化部会）において検討を行ってきた結果、令和元年度に民営化する方向とした。
- ・長野県やJR各社が連携する誘客企画「信州アフターDC」が7月8月に実施された。新宿発南木曾行の特急・木曾あずさ号の乗客を南木曾駅で出迎え、県・商工会と連携し物産販売等を実施した。
- ・平成26年7月9日発生南木曾町豪雨災害、御嶽山噴火の影響で木曾郡全体では観光客の入込が落ち込んでいるため、引き続き木曾観光復興対策協議会・木曾観光連盟等とのタイアップによる観光PRイベントを各所で実施した。
- ・田立の滝登山道、柿其溪谷遊歩道の整備を行い、観光客の安全確保を実施した。また、中山道新町地区に公衆トイレを設置し、観光客の利便性向上を図った。

2. 農政・農村整備・林務関係

- ・平成12年度から始まった中山間地域農業直接支払制度の4期（平成27～31年）と多面的機能支払交付金事業の1期（平成26～30年）による各協定での取り組みが進められ農道・水路の維持管理が行われている。多面的機能支払交付金事業は第2期対策の準備を行った。
- ・なぎそグリーンマーケットは6年目を迎えた。学校給食への活用もあわせ地産地消に取り組んだ。
- ・与川大橋の耐震改修が県営事業に採択され、平成29年度には実施設計が行われ、平成30年度から耐震改修工事に着手した。
- ・平成27年度から検討・調査を進めてきた細の洞水路での小水力発電事業を、平成30年度は設計書作成、建設用地取得及び立木補償を行った。
- ・久保洞水路橋について、教育委員会と連携して農業土木遺産としての調査を行い、案内看板を設置した。
- ・国土調査事業は、田立栗畑・大野正兼地区の山林部を実施した。
- ・南木曾町に適した持続可能な木材利用法を検討するために木材利用調査を実施し、林業・建築・建設業関係者による懇談会を設置して意見交換を行った。
- ・西山町有林で搬出間伐を実施した。

3. 特別会計

妻籠宿有料駐車場特別会計

- ・駐車場使用料は対前年度比1.7%、約42万円の増となった。車種別台数ではバスが737台減少し、マイクロバス9台、普通車3,684台、二輪車255台の増加となった。主な原因は、台風等による天候不順の影響もあるが、全国的にも旅行スタイルが団体から個人へ移行してきている傾向があげられる。

4. 【評価】

- ・観光協会は、町の観光地域づくりの舵取り役を担う組織に移行するため、一般社団法人化にすることで準備を行っている。観光関係者が役員の主体となり、町がこれを支援していく体制が理想的であり、今後も支援を行っていく必要がある。
- ・観光施設の施設整備・維持管理は、地域の協力を得ながら、町の一定の支援は継続的に必要である。
- ・南木曾駅は、住民の交通手段として重要である。また、町を訪れる観光客・外国人の利用度も高いため、引き続き窓口業務の運営は必要である。
- ・パンフレットの配布方法は、有効な配布方法について検討が必要である。
- ・妻籠宿有料駐車場は、保存事業等の財源として有用である。依然としてバス観光客が減少しているため経営の改善が必要である。
- ・中山間直接支払や多面的機能支払事業は、自主的な維持修繕で農地を保全できるほか、農家の所得補償にもなっているため今後も継続が必要である。また、水田農業を継続していくには共同利用機械・施設が必要であり、今後も水田農業共同利用施設整備事業補助を使った定期的な設備の更新が必要である。
- ・森林造成事業等町上乘補助金は、森林組合の民有林搬出間伐の事業に対処する支援であり、健全な森林を維持するために今後も必要な事業である。
- ・有害鳥獣駆除事業及び鳥獣被害対策実施隊の設置は、今後も農作物及び林業被害防止のため継続が必要で、駆除報償や資格保持者の経費負担の軽減を図っていく必要がある。
- ・松くい虫防除対策事業は、蔓延防止及び倒木の危険防止のため、継続していく必要があるが、町単独費による処理費用が増加傾向にある。今後、更に駆除対象となる被害木の選定について最小限の処理で最大限の効果が達成できる方法について検討していく必要がある。

7. 産業観光課所管

1. 商工

(1) 商工振興

○雇用対策について

- ・木曽地区雇用対策推進協議会（7月25日、2月24日）
木曽地区の雇用情勢等の報告、各町村で意見交換。
- ・木曽地域 就業促進・働き方改革戦略会議（6月4日、1月29日）
H30 から木曽地域振興局が事務局として設立。町村長・各種団体の長が集まり、木曽地域における産業人材の確保や学生の地域産業への就業促進等について、現状と課題を共有し地域一体となって取り組むことを目的としている。
- ・中津川市雇用対策事業との連携（負担金：35千円）
高等学校求人一覧冊子の作成、配布（蘇南高等学校：3冊、木曽青峰高校：2冊）
- ・公共職業安定所の発行する求人情報を窓口を設置（役場、南木曽会館）

○資金融資措置

中小企業の経営基盤確立のため、県及び町の制度資金（設備・運転資金・特別経営安定対策）に係る融資斡旋を商工会及び県信用保証協会並びに金融機関と連携して実施した。

融資額は、平成29年度対比で増額（18,060千円）となった。融資内容としては、設備資金が約88%（45,260千円）を占めた。

- ・町中小企業振興資金（年利2.0%）

預託金 総額 21,500千円

八十二銀行 11,000千円 岐阜信用金庫 6,500千円

木曽農協 4,000千円

- ・融資の状況

町制度資金 3件 3,200千円

県制度資金 4件 48,060千円

計 7件 51,260千円

- ・制度資金あっせんによる保証料補給

町制度資金 3件 131千円

県制度資金 4件 936千円

計 7件 1,067千円

- ・災害影響による借入に対する利子補給

7件 725千円

※運転資金6件、設備投資1件

○小規模事業者への指導

- ・小規模事業指導費として南木曽商工会に4,500千円を交付。経営指導、融資斡旋等を実施。
- ・南木曽スタンプ組合と南木曽町商品券加盟店会が統合され、H25に「なぎそ・おたのしみカード

会」が発足。地域内消費拡大事業補助金として200千円を交付。

○木材、木工業の振興

- ・ウッディ・クリエイト・ナギソ（WCN）の事業に69千円を交付。
- ・第33回南木曾町小学生木工造形コンクールの実施（展示は町民展と同時開催）
応募作品 123 点

○木材産業体験事業

- ・町内木工事業者の協力により、南木曾小学校3年生が間伐材を利用した木製テーブル・ベンチ作りを行った。テーブル6台、ベンチ12台を町内観光地等へ配置した。
事業費 226千円（県：144千円、町：82千円）
設置場所：山の歴史館、一石栢、妻籠宿第2駐車場裏×3、蘭キャンプ場

○伝統工芸品の振興

町内の伝統工芸の後継者育成と振興を図るため、次の団体に助成を行うとともに、各種イベント・物産展への参加とPR及び販路拡大を図った。

- ・「南木曾ろくろ細工」（国指定伝統的工芸品） 南木曾ろくろ工芸協同組合 350千円
- ・「蘭檜笠」（県指定伝統的工芸品） 蘭檜笠生産協同組合 350千円
- ・「田立和紙」 田立和紙保存振興会 300千円

○南木曾地域産業労働安全大会

- ・町、木曾森林管理署南木曾支署、商工会共催
- ・7月18日 62名参加 南木曾町会館
- ・講話「労働災害防止について」（松本労働基準監督署 第二方面主任監督官）

○木曾勤労者共済会

- ・会 員 数 194名（平成31年3月末現在）
- ・加入事業所数 44企業
- ・共済給付事業 祝 金 29件 239,000円
見舞金 4件 112,000円
弔慰金 13件 350,000円
- ・融資事業（生活資金・住宅改良資金） 0件
町村預託金 2,000千円 長野県労働金庫木曾福島支店
- ・人間ドック利用補助 34件 184,658円
- ・勤労者共済会組織町村負担金 987,269円

○集合型商業施設（ショッピングセンター）の検討

小売事業者等の商店の廃業や撤退、高齢者等の買い物弱者対策等への対応を含めて検討していく「南木曾町ショッピングセンター開設協議会」を平成28年に設置している。

平成29年度には協議会内の中心メンバーでより具体的な協議をしていく部会として「ショッピングセンター検討会議」を設置して検討している。

- ・開設協議会 5月25日、7月9日、11月9日
- ・検討会議 7月18日 ・木曾警察署へ要望活動 8月17日

(2) 消費生活

○消費者相談等への対応

・町への苦情相談問い合わせ件数 33 件（内 クーリングオフ手続き指導：6 件、契約解除指導：0 件、警察・消防へ通報・情報提供：1 件、放送による周知：5 件、相談受付のみ：19 件、県消費生活センター斡旋：2 件）

・広報誌、広報無線などで被害防止の周知活動を必要な都度実施

・消費者月間（5 月）に、注意喚起のぼり旗を役場庁舎及び南木曾駅前で設置し啓発した。

○リサイクル運動 廃油の回収と廃油利用（回収実績 1,8640）

(3) 運輸関係

○中央西線輸送強化期成同盟会部会

木曾地域交通網対策協議会で、JR への要望活動を実施

平成 30 年 10 月 28 日 中央西線（JR 東海）利用に係る要望書を長野県へ提出

平成 30 年 11 月 12 日 JR 東海本社への要望活動

平成 30 年 12 月 20 日 「長野県 JR 連絡調整会議」（県庁）

○JR 東日本ダイヤ改正要望

中央東線特急あずさのダイヤ改正に関する要望活動を実施

平成 31 年 1 月 7 日 JR 東日本長野支社への要望活動

平成 31 年 2 月 1 日 国会議員・国土交通省・JR 東日本本社への要望活動

○南木曾駅窓口業務の受託（平成 24 年 10 月 1 日～）

JR 東海の南木曾駅無人化を受け、窓口での乗車券類の販売業務を町が受託して実施

・営業時間 午前 7：50～午後 4：05

（昼休憩 11：10～11：30 12：35～13：15）

・業務時間 午前 7：30～午後 4：30

・窓口従事者 1 人体制

乗車券類販売額 46,349 千円（H29 47,896 千円）

販売手数料 2,170 千円 乗車券 5%、定期券 1.8%

（H29 2,241 千円）

・運営経費 賃金:3,213 需用費:233 使用料:248（単位:千円）

※H29 賃金:3,103 需用費:357 使用料:214（単位:千円）

(4) 地元特産品の宣伝開発等

○工芸街道祭り（実行委員会主催）

11 月 3 日～11 月 4 日（町補助金：300 千円）

2. 観光

(1) 観光行事、イベント関係

○第 17 回なぎそミツバツツジ祭り（実行委員会主催）

4 月 7 日～22 日（物産販売：7 日～15 日）（町補助金：300 千円）

来客数：3,386人 バス・マイクロバス 20台 乗用車 1115台 二輪車 13台
 ※H29 来客数：1,795人 バス・マイクロバス 10台 乗用車 423台 二輪車 6台
 出店者売上（18店） 2,191千円 ※H29（16店） 1,722千円

- 南木曽ろくろ工芸組合総会 4月23日
- 田立の滝滝開き 4月27日
- 蘭桧笠生産協同組合総会 5月16日
- 南木曽山麓蘭キャンプ場・南木曽岳登山安全祈願祭 6月9日
- 田立和紙保存振興会総会 7月12日
- 妻籠宿火まつり 8月25日
- 与川古典庵の観月会 9月24日
- 田立の花馬祭り 10月7日
- 工芸街道祭り 11月3日～4日
- 文化文政風俗絵巻之行列 11月23日
- 新春狼煙上げ 1月4日

○信州アフターDC 木曽あずさ号運行（7月28日、8月25日）

新宿～南木曽駅間 県・商工会と連携して南木曽駅前で物産販売でおもてなしを実施

○その他の観光展・イベント等への参加

- ・伊那路・木曽路広域連携観光PR展（6月15日～16日） 名古屋駅
- ・信州アフターDC木曽福島駅お出迎え（7月1日） 木曽福島駅
- ・蘭桧笠PRキャラバン（7月3日） 天龍峡他
- ・ろくろ展示販売イベント（3月8日～20日） 東京都青山スクエア

（2）広告宣伝関係

○パンフレット類の作成（一部観光協会とタイアップ）

- ・観光総合パンフ「ぶらり南木曽」 25,000部
- ・「ガイドマップ南木曽町」 25,000部
- ・「桃介橋リーフレット」 10,000部

○メディア関係広告掲載

- ・新聞広告、旅行紙広告に観光協会とタイアップして掲載（年間随時）
- ・各種取材への対応
- ・TV放送取材の対応

○南木曽町観光協会公式ホームページ「ぶらり南木曽」

- ・英語版、スマホ英語版への対応管理、運営

（3）観光施設

- 田立の滝登山道整備事業 工事費 4,472,000円 ※H29 繰り越し分
登山道の階段、吊橋を整備
- 柿其溪谷遊歩道整備事業 工事費 12,754,800円
遊歩道の栈橋、展望台の整備

- 田立の滝登山道整備事業 工事費 13,500,000円
登山道の階段を整備
- 観光地トイレ整備事業① 工事費 4,363,200円
新町地区（中山道沿い）に公衆トイレを整備
- 観光地トイレ整備事業② 工事費 5,410,800円
天白公園駐車場公衆トイレの整備（洋式化）
恋路峠公衆トイレの整備（水洗化及び洋式化）
- 町営妻籠宿有料駐車場区画線補修工事 工事費 1,350,000円
第1・第2・第3駐車場の区画線を整備
- 眺望景観整備事業
眺望を確保するため立木を伐採
 - ・馬籠峠眺望景観整備（H29から繰越） 事業費 367,200円
 - ・ミツバツツジ群生地前眺望景観整備 事業費 1,998,000円
 - ・与川古典庵景観整備 事業費 629,100円
- 観光施設修繕工事等 合計 3,657,311円
南木曾岳登山道（蘭側ルート）笹刈り、恋路峠展望台改修、南木曾岳遊歩道栈橋取替、南木曾駅前常夜灯改修、ミツバツツジ群生地整備、他
- 観光施設、登山道、歩道等の維持管理（草刈、小修理など）
 - ・田立の滝登山道、柿其溪谷遊歩道、南木曾岳登山道、川西古道、与川歴史の道、SL公園他
 - ・天白公園ツツジ園（中学生、シルバー人材センターによるボランティア作業も実施）
- 観光案内板等の小修理、維持管理
 - ・田立の滝、南木曾岳、柿其溪谷、天白公園、妻籠宿他
- 福沢桃介記念館と山の歴史館 指定管理委託：桃介橋河川公園組合
（指定期間）平成28年4月1日から平成33年3月31日まで
指定管理料：1,600,000円（河川公園と併せて）

(利用状況)

(単位：人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	3月	合計	H29実績
422	287	120	102	153	117	228	265	14	68	1,776	2,372

※12月～3月下旬まで冬季閉館

- 観光地整備事業補助金の交付
 - *観光団体 南木曾山麓蘭キャンプ場組合
 - ・事業名 宿泊施設消防施設等設置事業
 - ・事業費 448,800円（補助金：400,000円）
 - *観光団体 南木曾ろくろ工芸協同組合
 - ・事業名 前山～山の神整備事業
 - ・事業費 697,896円（補助金：600,000円）

(4) 広域観光連携の取り組み

○木曾観光連盟・観光宣伝協議会と連携した取り組み

- ・「木曾路フリーきっぷ」とのタイアップ（主催：JR東海） 4,258名
バス・タクシー利用券＋観光施設無料入場券（4,000円）
お買い物券（妻籠宿登録店：2,000円）
- ・「日帰り1day木曾路」 宿場町散策マップを付けた旅行商品（通年販売） 129名

○木曾広域観光振興プロジェクト会議との連携

- ・「季刊誌木曾路（年4回発行）」による旬な情報発信

○中津川市、阿智村、木曾広域圏との連携

- ・県際交流協議会 広域観光連携の推進 着地型旅行商品の研究
（南木曾町・中津川市・大桑村・上松町・王滝村・阿智村）

○伊那路・木曾路広域観光連携会議との連携

- ・伊那路・木曾路広域連携観光PR展（名古屋駅6月15日～16日）
- ・伊那路木曾路広域観光推進懇談会の開催（飯田市 11月21日）

(5) 観光協会等

○南木曾町観光協会 （町補助金：通常分 550,000円 観協人件費分3,800,000円 法人化準備分4,200,000円 合計 8,550,000円）

- ・7月11日総会開催
- ・観光案内、宣伝、イベントへの参加協力、取材協力と案内、広告掲載
- ・インバウンド事業への取り組み
海外の旅行社、マスコミ関係者の対応・案内
- ・県、木曾観光連盟の誘致活動への協力
- ・各支部加盟団体との連携協力による活動
- ・DC・民営化部会 民営化の検討について4回開催し協議を重ねた。
- ・民営化について 部会での協議を基に理事会において来年の総会時に一般社団法人化する方向となった。

○南木曾駅観光案内所 （開設期間）平成30年4月1日から平成31年3月31日まで 臨時職員を雇用し、1日1名体制（4名で運営：観光客案内、駅前公園の清掃等）

○木曾観光復興対策協議会

観光業を中心として深刻な影響を受けた木曾地域の復興を図るため、県、郡内町村、木曾広域連合、木曾観光連盟、木曾郡内観光協会等で組織する協議会を平成26年度に設立。復興事業、PR活動等実施した。

加盟団体：木曾観光連盟、長野県観光連盟、日本観光協会、みなみ木曾路連絡協議会、中央アルプス山岳観光協議会、日本桜の会、国有林観光施設協議会、日本の森滝渚全国協議会、木曾地区温泉協会、全国街道交流会議、信州まつもと空港利用促進協議会、南木曾伝統工芸の森育成協議会、伊那路木曾路広域観光連携会議

○南木曾駅観光案内所対応件数 (※窓口で対応した件数・人数。外国人は通過者数。)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
問 合 件 数	H30	1,065	893	641	746	833	843	1054	885	348	249	314	695	10,146
	H29	835	807	507	680	777	659	805	638	296	264	277	600	7,145
	H28	554	557	377	528	590	591	730	616	272	212	269	545	5,841
	H27	635	383	239	330	491	445	459	496	223	180	175	379	4,435
案 内 人 数	H30	2,645	1,971	1,344	1,799	1,903	1,887	2,630	2,191	833	535	688	1,659	18,505
	H29	2,061	1,857	1,097	1,592	1,700	1,392	1,868	1,433	672	549	625	1,413	16,259
	H28	1,329	1,230	783	1,153	1,315	1,350	1,567	1,557	564	433	750	1,365	13,396
	H27	1,709	893	503	846	1,163	805	1,225	1,142	472	356	482	967	10,563
外 国 人	H30	4,463	3,315	1,850	2,680	3,000	2,602	4,159	3,128	732	431	498	2,004	28,862
	H29	4,050	2,798	1,636	2,282	2,493	2,134	3,837	2,596	703	566	648	1,959	25,702
	H28	3,133	2,313	1,378	2,290	2,360	1,877	3,476	2,183	725	464	597	1,627	22,423
	H27	3,165	2,114	989	1,769	1,968	1,657	2,393	1,883	589	371	534	1,531	18,963

○観光客入込数

単位：百人

	妻籠宿	柿其溪谷	田立の滝	南木曾 山麓	南木曾 温泉郷	富貴畑高原 温泉郷	合計
H30	3,655	138	39	169	1,121	140	5,262
H29	3,849	149	30	170	378	131	4,707
H28	3,943	148	31	145	412	117	4,796
H27	4,183	148	51	157	368	91	4,998

○中山道馬籠峠を越える外国人ハイカー [(公財) 妻籠を愛する会調べ]

地点：一石栃立場茶屋

単位：人

H30	31,032	H29	25,513	H28	22,882	H27	17,290
-----	--------	-----	--------	-----	--------	-----	--------

3. 地域交流

○「日本で最も美しい村」連合

- ・ 4月 6日 連合長野県会議 大鹿村
- ・ 4月23日 連合担当補佐役会議 東京都
- ・ 6月29日 連合長野県会議PR活動(名古屋) 金山駅
- ・ 7月5日～7日 連合定期総会・フェスティバル 北海道鶴居村
- ・ 11月13日 連合フォーラム2018 東京都
- ・ 11月14日 第2回担当者会議 東京都

○長久手市との交流

通年：観光施設で交流町村優待サービス事業

- ・ 4月 1日～ 新生児祝い品事業 実績数：650件（H29：640件）
- ・ 7月13日 平成こども塾受け入れ打合せ 南木曽町
- ・ 8月 8日 平成こども塾受け入れ（マスつかみ） 南木曽町
参加者：長久手市35名、南木曽町25名
- ・ 10月17日 ながくて市民祭り実行委員会 長久手市
- ・ 11月11日 ながくて市民祭り 長久手市

○上下流交流

- ・ 4月19日 第1回上下流交流実行委員会 木曽町
- ・ 12月 1日 木曽川と堀川・上下流を繋ぐ交流会 名古屋市
- ・ 3月27日 第2回上下流交流実行委員会 木曽町

○木曽三川流域連携

- ・ 5月29日 第1回木曽三川流域連携課長会議 名古屋市
- ・ 8月21日 第2回木曽三川流域連携課長会議 名古屋市
- ・ 9月24日 木曽三川流域自治体サミット 海津市
- ・ 12月19日 木曽三川流域連携シンポジウム 名古屋市
- ・ 2月 8日 第3回木曽三川流域連携課長会議 名古屋市

平成30年度 商工観光関係 工事関係

(単位：千円)

事業名	事業内容	事業費	左の財源内訳					備考
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
田立の滝登山道整備事業 (H29 から繰越し)	登山道整備	設計費 324 工事費 4,472 工事総額 7,452			4,100		696	吊橋修繕(1橋) 登山道補修(1箇所)
柿其溪谷遊歩道整備事業	遊歩道整備	設計費 486 工事費 12,755			13,200		41	遊歩道補修(2箇所) 展望台補修(1箇所)
田立の滝登山道整備事業	登山道整備	設計費 486 工事費 13,500			13,900		86	登山道補修(9箇所)
観光地トイレ整備事業①	公衆トイレ整備	設計費 1,058 ※設計費は②分含む 工事費 4,363 用地費 937					769	公衆トイレ新設 (新町地区)
観光地トイレ整備事業②	公衆トイレ整備	工事費 5,411			11,000			天白公園駐車場公衆ト イレ洋式化、恋路峠公衆 トイレ水洗化
町営妻籠宿有料駐車場区画線 補修工事	区画線補修	工事費 1,350					1,350	

4. 農政関係

(1) 農業委員会事務局関係

①委員会協議・処理対応事項

- ・ 定例委員会・・・12回（毎月）
- ・ 農地案件の現地確認調査
- ・ 農業経営基盤強化促進法による利用権設定の審議
- ・ 農地利用の最適化にむけた地区懇談会への参画
- ・ 転作の現地確認・中山間直払等現地確認
- ・ 農地利用状況調査・農地利用意向調査
- ・ 農地無断転用防止のパトロール活動
- ・ 農作業安全運動推進PR
- ・ 農作業標準料金の審議
- ・ 農地農家台帳システムの整備（フェーズ2への移行）
- ・ 町内各生産部会等への参画と町内農事懇談会への参加
- ・ 全国農業新聞普及・拡大の取り組み
- ・ 長野県農業委員大会と各種研修会（県農業会議・情報活動・郡事務研）への参加

②農業委員名簿

【農業委員】

任期 平成30年2月15日～令和3年2月14日

氏名	担当地区	備考	氏名	担当地区	備考
伊藤 兼彦	妻籠地区	地区推薦	古井 小恵子	田立地区	地区推薦
松原 徳則	与川・北部地区	地区推薦	片田 恵	田立地区	地区推薦
尾崎 省吾	蘭・広瀬地区	地区推薦	小原 明信	蘭・広瀬地区	地区推薦
山川 あゆみ	三留野地区	地区推薦	青木 房江	妻籠地区	団体推薦
早川 親利	三留野地区	団体推薦	小倉 敏保	田立地区	地区推薦
小倉 勉	与川・北部地区	地区推薦	11名		

【農地利用最適化推進委員】

氏名	担当地区	備考	氏名	担当地区	備考
松原 規行	読書地区全域	地区推薦	松下 建三	吾妻地区全域	地区推薦
高橋 民義	田立地区全域	地区推薦	3名		

③平成30年度農地関係取扱件数

（面積は小数点以下第1位で四捨五入）

内 容	件数	面積(m ²)
農地法第3条による所有権移転（売買等による農地の所有権移転）	5	7,164
農地法第4条による農地転用 （所有権者本人による農地以外への転用）	1	546
農地法第5条による農地転用 （所有権移転または貸借等の権利設定を伴う農地以外への転用）	9	8,580
公共事業による農地転用	5	6,001
非農地証明	3	752

参考：平成30年度における農地以外への地目変更面積 15,879 m²

(2) 農業振興関係

① 経営所得安定対策と米政策

経営所得安定対策では、米・麦・大豆等について、需要に応じた生産の促進と水田農業全体としての所得向上等により、農業経営の安定を図るため実施されている。町では木曾郡農業再生協議会を中心に米及び有利な転作作物の推進を図った。農業委員と集落協定関係者で現地確認を実施した。

・ 事業の内容

町内に交付された交付金は総額 6,565 千円（29 年度 10,077 千円）となった。

米の直接支払交付金は平成 29 年度をもって終了、畑作物の直接支払交付金は作付の実績はなかった。

○ 水田活用の所得補償交付金

(1) 戦略作物助成

作物名	単価 (円/10a)	面積 (㌥)	交付金額 (円)
大豆	35,000	28	98,000
飼料作物	35,000	834	2,919,000
発酵用稲 (WCS)	80,000	237	1,896,000
合計		1,099	4,913,000

(2) 産地交付金

	単価 (円/10a)	交付金額 (円)
産地資金	※下記単価参照	1,652,489

※対象作物要件：助成対象水田で品質向上、生産性向上の取り組みがなされていること
(以下 10 ㌥当り単価)

水田における生産性向上等の取組

そば：5,835 円 大豆：8,500 円 飼料作物：9,000 円 WCS：22,000 円

地域振興作物の生産

ハクサイ・スイートコーン・赤かぶ：23,000 円

インゲン・トマト・えごま・トルコギキョウ・ユリ・リンドウ：19,000 円

耕畜連携（水田放牧）：14,000 円

② 地域農業対策

町では地域営農体制の整備、農地の有効活用により持続的な農業生産を可能とする農業構造を構築するため、各種の取り組みを実施した。

※ 農業関係制度資金利子補給金 2 名 31,207 円

※ 農業振興小規模資金及びつなぎ資金関係

平成 30 年度利用実績 0 件 貸付現在高（平成 30 年度末） 0 件 0 円

※ 農振農用地一般管理事業

編入面積 0 ㎡ 除外面積 5,933 ㎡ 用途変更 249 ㎡

※ 農地利用集積計画

利用権設定面積（農業経営基盤強化促進法に基づくもの）

年度	設定面積	年度末計画面積合計
平成 30 年度	5.2ha	26.6ha

(設定面積は該当年度における利用権の新規設定および更新の合計)

③ 中山間地域等直接支払制度

中山間地域等直接支払制度は、第 4 期対策として平成 27 年度から 5 年間の取り組みが始まった。約 172 ㌥の農地を対象に 26 集落 1 個別協定で実施。

交付金の配分については、各集落の取り決めにより個人配分が0%～50%、共同取組分が50%～100%の割合で配分され各集落で活用されている。平成30年度の集落への交付金支払状況と、平成29年度交付金の集落における主な共同取組分の使用状況は次のとおり。

交付金 36,604,120 円（内訳：国 18,302,051 円 県 9,151,011 円 町 9,151,058 円）

平成30年度交付金				平成29年度交付金(共同分)の主な使用状況					
集落名	農家数 (戸)	参加農地面積 (㎡)	支払交付金 (円)	共同分 (%)	農道・水路 管理費 (円)	鳥獣被害 防止対策 費 (円)	共同利用 機械購入 等費 (円)	共同利用 施設整備 等費 (円)	その他 (円)
与川1区	19	88,792	1,733,662	100					71,378
与川3区	17	81,445	1,628,445	60	780,532				6,480
与川4区	14	72,358	1,368,679	70		28,000	381,780	52,880	144,752
与川5区	8	33,662	813,972	70	370,000				
十二兼	19	51,411	994,739	60	327,500		199,076		91,800
本谷	28	81,034	1,701,714	50	536,010	316,820			211,534
岩倉	21	84,878	1,856,172	70	2,479,137	38,900			163,494
椰野	5	20,409	428,589	70	300,000				
川向	5	27,712	409,209	80	85,000				
上の原	28	137,381	3,230,888	50	287,230	50,000			3,854
神戸	17	42,340	939,864	70	966,600				9,043
渡島	5	11,304	202,769	60	157,000				540
妻籠町上	16	43,718	715,463	60	288,000	226,049			7,884
橋場	16	43,728	916,748	50	228,000				53,760
大妻籠下り谷	12	60,982	1,337,852	70	240,000	602,520			
上在郷	15	49,810	1,143,456	60		225,644	240,800		26,678
尾越	10	18,470	426,516	70					
上段	26	53,759	1,128,939	60	288,560				7,680
蘭	14	20,593	432,453	60	114,756				11,620
元組	60	90,611	1,902,831	70	500,000	74,500			
向栗畑	33	103,977	2,141,237	70	1,500,000	19,200			38,658
栗畑	42	117,876	2,428,030	70	1,337,071	76,000			97,083
下切	34	89,765	1,933,151	50	298,989	250,874			35,706
大野	14	64,792	1,667,766	70		140,953			
正兼	19	80,822	1,982,106	70	928,800	518,980			7,713
塚野	31	130,984	2,860,116	70	1,105,496	129,600			
神橋(個別)	—	13,274	278,754	—	—	—	—	—	—
計	529	1,715,887	36,604,120	—	13,118,681	2,698,040	821,656	52,880	989,657

④園芸特産振興事業

・園芸特産振興事業補助金

事業主体 木曾農業協同組合

事業費 4,499,280 円【補助金 1,000,000 円 自己資金 3,499,280 円】

事業内容 お茶仕上機（ミニ総合機）1 台

・茶の振興関係

田立製茶工場

操業 5 月 5 日～5 月 23 日（19 日間） 生葉受入 16.5 トン（前年度△0.5 トン）。

第 45 回長野県茶の共進会

6 月 22 日（金）に南木曾町（南木曾会館）において開催し、南木曾町からは 6 点出品され、その内 1 点が努力賞となりました。

田立のお茶ペットボトル化支援事業

田立のお茶をペットボトルにして販売することにより、町内のお茶の生産・振興を支援した。

事業主体 木曾農業協同組合

事業費 2,499,280 円【補助金 435,240 円 自己資金 2,064,040 円】

事業内容 ペットボトルラベル作成支援

・野菜関係

地産地消の意識の高まりから、農協を通じ農家の自主的運営で野菜直売が行われている。農協を通じた直売は田立地区を中心とした農家で取り組まれ、A コープで販売されている。

消費拡大を目的に生産・販売・消費・観光関係者で「地産地消推進会議」を組織して軽トラ市場部会と学校給食部会が活動を行った。「軽トラ市場」は 7 月から 12 月まで 14 回開催した。その他学校給食食材供給者に対して運搬費補助を実施した。

【軽トラ市場なぎそグリーンマーケット開催状況】（ ）は前年数値

開催数	売上合計	延べ出店者数	主な開催場所
14 回 (15 回)	568,450 円 (342,760 円)	78 店 (62 店)	南木曾駅横駐車場・南木曾会館・社会体育館・笠の家・広瀬分館

【学校給食食材提供運搬補助実績】（ ）は前年数値

	【小学校】			【中学校】		
	延べ回数	補助額(円)	売上合計(円)	延べ回数	補助額(円)	売上合計(円)
合計	113 回 (41 回)	35,510 円 (6,780 円)	291,775 円 (111,955 円)	191 回 (135 回)	46,560 円 (36,175 円)	397,339 円 (168,933 円)

・花卉・花木関係

出荷数量/本

品種	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
ヒペリカム	2,860 本	3,924 本	3,255 本	6,025 本
こうやまき	17,936 本	13,956 本	14,725 本	23,171 本

※数値は南部花卉部会の数値

・みつばちふそ病関係

ふそ病検査を、松本家畜保健衛生所に協力して実施した。(対象戸数7戸)
(発生の確認なし)

広報誌により新規飼養者への届出等の必要性について周知を行った。

⑤畜産振興事業

・家畜飼育状況(平成30年4月末現在)

(単位:頭)

年度	乳牛		肉用牛	
	農家数	成乳牛数	農家数	繁殖牛数
26	1	31	10	65
27	1	27	10	59
28	1	30	10	61
29	1	32	9	64
30	1	23	8	63

・家畜市場(子牛)状況の推移(平成31年2月末現在)

(単位:千円)

年度	雌		去勢		計		売上合計
	頭数	平均金額	頭数	平均金額	頭数	平均金額	
26	27	506	33	549	60	529	31,798
27	31	565	26	723	57	637	36,347
28	25	671	28	811	53	745	39,490
29	26	693	33	780	59	742	43,775
30	28	678	24	770	52	720	37,462

・家畜診療関係

平成16年度からNOSAI長野中信地域センター(旧NOSAI中信診療所)へ委託。

平成30年度は、運営負担金363,000円・木曾地域特別負担金472,000円を支出した。

・素牛導入事業

4頭導入 【補助金額719,912円 補助率1/2 上限30万】

・町有牛導入事業

2頭導入 1,705,179円

年度末保有町有牛 4頭 評価額 計3,282,583円

・農事組合法人長者畑草地利用組合関係

飯伊木曾畜産基地建設事業で平成2年に着手、平成5年に完成し利用組合(現在組合員6戸)へ管理委託している。耕地は草地林地一体的利用総合整備事業で平成13~14年度にかけて草地更新を実施してきたが、近年では機械の経年劣化、鳥害対策、組合員の高齢化、草地への外来雑草の侵入による生産力低下などの様々な事情により、平成30年度はロールの生産が困難であった。

また、組合員の地元地域周辺では遊休農地が増える状況があり、当該農地を利用した牧草やWCSなどの飼料の生産圃場を確保することで、遊休農地解消や生産性の向上により長者畑草地の利用価値が低下した。これにより、当組合の今後についての検討会を行い解散する方針とした。次年度において正式に解散、精算等を行うこととなった。

H30 長者畑草地利用組合への助成金 857,120 円

(国有林賃借料、車検代、施設・車両修繕)

・大原公共採草地管理関係

大原公共採草地管理組合(組合員6戸)に、草地利用・管理を委託するとともに、ロールラップサイレージ(牧草ロール)の調製を推進した。現在、草地の一部を公共工事の残土処理場等として一時的に利用しているが、一部返地がされ、牧草を播種し草地としての利用を開始した。

・放牧関係

飼料自給率の向上と労力軽減を図ることを目的とした放牧事業(小規模ブロック移動放牧)を平成23年度から引き続き実施している。牛の放牧については、放牧期間中は畜舎が空くため日常的な家畜の管理が不要となる等のメリットはあるものの、遠方に放牧することにより、見回り等が必要となるため、飼育に対する負担感が発生する場合もあり、面積は減少傾向にある。

放牧期間・面積 5月から10月(6カ月)約3ha

放牧場所:与川・上の原・夏虫・塚野

数年前から、牛の放牧に加えて綿羊(サフォーク種)の放牧も実施しており、牛に比べて移動が容易である等のメリットがあるが、個体数が少なく需要に追いついていない状況である。

⑥農作物有害鳥獣被害対策事業補助金

・電気柵を購入・設置した場合に購入経費の2分の1を補助(上限3万円 ただし中山間地域直接支払制度受益農地は対象外)を実施した。

30年度実績:4件 【補助金:111,870円】

⑦農業技術の普及・改善・指導・試験研究

農業関係の普及事業等について農業改良普及センターや農協との連携及び農技連の活動により推進した。

- ・農事(気象・防除等)に関する広報活動
- ・農技連総会 7月29日
- ・稲作現地指導会 6月(26か所)
- ・肥料、農薬等説明会 11月(24か所)
- ・冬期農事懇談会 3月1日～8日 23か所 参加160名
- ・ドローンによる本田防除デモンストラーション 8月21日
- ・WC S検討会、栽培講習会 4月11日
- ・赤かぶりレー栽培推進会議 6月21日
- ・里芋実証試験栽培 5月～
- ・蘇南高校そば栽培協力 7月～

(別表)

平成30年度 農政関係主要事業

(1) 農業委員会事務局関係

単位：千円

事業名	事業主体	事業量	事業費	左の財源内訳					備考	
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
農業委員会運営経費		14名	3,666		1,613				2,053	
機構集積支援事業			1,162		128				1,034	
合計			4,828		1,741				3,087	

(2) 農業振興関係

事業名	事業主体	事業量	事業費	左の財源内訳					備考	
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
農業経営基盤強化資金利子補給事業		2件	31						31	
中山間地域等直接支払交付金		27協定	36,604	18,302	9,151				9,151	
水田農業構造改善対策事業			462				159		303	
園芸特産振興事業	JA 木曾	お茶仕上機	4,499				3,499		1,000	
NOSAI 中信家畜診療所負担金			835						835	
長者畑草地利用組合関係事業			857						857	
素牛導入事業		和牛4頭	720						720	
町有牛導入事業		和牛2頭	1,705						1,705	
むらおこし組合施設運営補助事業			50						50	

5. 農村整備関係

(1) 町単小規模修繕事業

○土地改良施設修繕

- ・中山間直接支払制度の対象地域外の施設修繕を実施した。(農道1件、水路4件)

(2) 土地改良施設維持管理適正化事業

本事業は、施設の整備や補修など維持管理を目的に事業費の3割の額を5年の間に拠出金として積立て、事業実施年度に国・県の補助金を合わせた9割の交付金と1割の受益者負担で実施できる事業。

平成30年度は、川向地区「大洞水路」の改良工事を実施した。

(3) 農地農業用施設災害復旧事業

平成30年災については、近年のゲリラ豪雨にて平成30年9・10月に22箇所（田4、農道5、水路13）が被災し、町単災害復旧事業により復旧工事を実施した。

(4) 県単緊急農地防災事業

土砂崩落危険箇所台帳に登録された危険性の高い水路を対象に県営で整備するもので、測量試験費と長土連特別賦課金で実施できる事業。(県は工事、町は設計を実施する。)

平成30年度は、平成29年度繰越事業である東町地区「平岩水路」の改良工事を実施した。また、戸場地区「戸場水路」の新規地区採択申請を行い、工事は次年度へ繰越となった。

(5) 農村地域防災減災事業

与川大橋は、平成25・26年度に橋梁の構造解析モデルを構築し、大規模地震に対する耐震性の評価・耐震補強の検討を行った。また、平成28年度に災害防止効果の算定や事業計画を策定し、新規地区採択申請を行った。

平成29年度に県営事業にて実施設計が行われ、平成30年度から耐震改修工事に着手し、令和元年度に竣工予定。

(6) 小水力利活用促進事業

平成27年度の小水力発電案件形成事業により、経済性が見込まれた細野洞水路について、平成28年度に小水力概略設計支援事業を活用して、詳細な発電計画及び概略施工計画等を策定し、経済性の評価やCO2削減効果も含めた総合評価を行った。また、平成29年度に計画概要書を作成し、農業水路等長寿命化・防災減災事業の新規地区採択申請を行った。

平成30年度は、測量設計書作成業務、建設用地取得及び立木補償を行った他、導水管敷設工事の一部を発注し、工事は次年度へ繰越した。

(7) 農業遺産魅力発信事業

明治42年築造の多連跨線水路アーチ橋である「久保洞水路橋」について、地域発元気づくり支援金事業を活用し、資料収集及び現地調査を行い、農業土木遺産としての評価を行った。また、新たな観光資源として外部へ魅力を発信できるよう、調査結果を基に案内看板を作成した。

(8) 国土調査事業

平成30年度の国土調査事業は、田立栗畑・大野正兼地区の山林部を実施した。

事業実績	調査区名	事業内容	事業費
地籍調査事業	田立の一部 23区	地籍図原図作成、地積測定、地籍図及び地積簿作成、最終取りまとめ 0.29km ²	7,776,000円 (7,182,000円) () 内補助対象額
	田立の一部 24区	地籍図根三角測量、地籍図根多角測量、一筆地調査、細部図根測量、一筆地測量 0.24km ²	

国土調査実施地区一覧

年度	地区名	成果面積 (k m ²)	成果筆数 (筆)	区分	認証日	登記完了日
52-18	本谷～下切 28地区	17.23	23,830	平地		
18-19	塚野の一部(山林)	1.10	52	山林	20.3.31	20.5.14
19-20	塚野の一部(山林)	0.90	49	山林	21.4.2	21.6.5
20-21	下切の一部(山林)	0.20	21	山林	22.7.1	22.8.2
21-22	下切の一部(山林)	0.32	22	山林	24.11.12	25.3.8
22-23	塚野の一部(山林)	0.18	31	山林	24.11.12	25.3.8
23-24	塚野の一部(山林)	0.14	44	山林	25.11.20	26.6.6
24-25	塚野の一部(山林)	0.09	25	山林	29.11.9	30.2.5
25-26	塚野の一部(山林)	0.33	71	山林	30.5.7	30.8.10
26-27	塚野・大野正兼の一部(山林)	0.46	105	山林	未	未
27-28	大野正兼の一部(山林)	0.28	67	山林	未	未
28-29	大野正兼の一部(山林)	0.38	156	山林	未	未
29-30	大野正兼の一部(山林)	0.29	72	山林	未	未
30-元	栗畑・大野正兼の一部(山林)	0.24	70	山林	未	未
計		22.14	24,615			

地籍調査対象面積 69.72km² (平坦部17.23km² 山林部52.49km²)

平坦部成果面積計 17.23km² (進捗率100%)

山林部成果面積計 4.91km² (進捗率9.4%)

(9) 多面的機能支払交付金事業

平成26年度から始まった制度で、農地の多面的機能の維持・増進を図るため、農業者が共同して取り組む地域活動や地域資源（水路・農道等）の資質向上に資する活動を支援するもので、平成30年度は23集落、約160㌥の農地を対象に約977万円（町1/4、県1/4、国1/2）の交付金が支払われた。今年度が第1期対策の最終年度となる。

地区名	実施面積 (a)	支払交付金 (円)	地区名	実施面積 (a)	支払交付金 (円)
与川1区	885	718,157	上在郷	489	323,878
与川3区	813	642,346	尾越	208	62,400
与川4区	694	434,186	上段	541	324,462
与川5区	347	103,500	蘭	213	147,862
十二兼	556	425,508	元組	929	642,757
本谷	783	391,500	向栗畑	1,056	720,781
岩倉	849	715,027	栗畑	1,154	720,574
椰野	202	60,600	下切	891	254,700
川向	276	73,000	大野	626	313,000
上の原	1,405	688,640	正兼	806	559,524
神戸	423	293,650	塚野	1,308	866,325
橋場	462	291,967	合計	15,916	9,777,344

[別表]

平成30年度 農村整備関係 主な建設事業及び補助事業

1. 土地改良事業関係

①. 農道整備事業関係

事業名	実施箇所	事業量	事業費	左の財源			内 訳		備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
町単農道整備事業	川 向	農道修繕 1箇所	227				23	204	
農村地域防災減災事業	与川大橋	県営農村地域防災減災事業 与川大橋地区負担金	5,200		4,600			600	
小 計			5,427		4,600		23	804	

(単位:千円)

②. 小水力利活用促進事業

事業名	実施箇所	事業量	事業費	左の財源			内 訳		備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
農業水路等長寿命化・防災減災事業	東 町 (細野洞)	実施設計 一式	9,936						
		用地購入費 4筆	59	5,529	101	3,300		1,123	
		立木補償費 47本	58						
		建設用地測量業務 一式	300					300	
		導水管敷設工 L=297.0m	(18,360)						※次年度繰越
小 計			10,353	5,529	101	3,300		1,423	

(単位:千円)

③. かんがい用水路改良事業

事業名	実施箇所	事業量	事業費	左の財源			内 訳		備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
土地改良施設維持管理適正化事業	川 向 (大洞)	実施設計 一式	594	2,340	2,340		858	3,037	
		水路改修 水路工 L=165.9m	7,981						
町単水路改良事業	町 内	水路修繕 4箇所	762				31	731	東町(2箇所)・上仲町・和合北
県単緊急農地防災事業	戸 場 (戸場)	実施設計 一式	184				18	166	県営事業(水路工 L=31.2m) ※次年度繰越
農業遺産魅力発信事業	渡 島 (久保洞)	案内看板設置工 一式	367		252			115	
小 計			9,888	2,340	2,592		907	4,049	

(単位:千円)

④. 災害復旧事業関係

事業名	実施箇所	事業量	事業費	左の財源			内 訳		備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
町単災害復旧事業	町 内	修繕 22箇所 (田 4箇所・農道 5箇所・水路 13箇所)	6,958				165	6,793	
小 計			6,958				165	6,793	
土地改良事業合計			32,626	7,869	2,693	7,900	1,095	13,069	

(単位:千円)

(単位:千円)

2. 国土調査事業関係

(単位:千円)

事業名	実施箇所	事業量	事業費	左の財源				備考	
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他		一般財源
国土調査事業	田立 栗畑・大野正兼 山林23・24区	23区(0.29km ² :72筆)	7,776	3,591	1,796			2,389	
		24区(0.24km ² :70筆)							
	国土調査事業合計		7,776	3,591	1,796			2,389	

(単位:千円)

農村整備関係合計			40,402	11,460	4,489	7,900	1,095	15,458	
----------	--	--	--------	--------	-------	-------	-------	--------	--

6. 林 務

(1) 林業振興関係

(ア) 民有林振興対策事業

民有林振興対策として林業家の森林整備意欲等の向上を図るため補助を行った。

① 林業指導啓発事業

南木曾町森林組合による民有林の指導啓発活動をはじめ林業職員の技術向上事業に対して988,000円を補助した。

② 造林事業

森林所有者の負担軽減を図るため、除間伐を中心とする森林造成事業の森林整備費として森林組合を通じて367,444円を補助した。

実施された造林事業は、次のとおりである。

(単位：ha・円・m)

作業種	30年度		29年度		28年度		備 考
	事業量	補助金額	事業量	補助金額	事業量	補助金額	
地拵え	—	—	—	—	—	—	
新 植	—	—	—	—	—	—	
下 刈	0.85	—	3.50	—	2.80	—	
枝 打	—	—	—	—	—	—	—
除 伐	3.32	—	0.70	—	2.55	—	
獣害防止	2.50	—	2.80	—	2.80	—	
間 伐	14.27	367,444	32.39	911,202	17.97	505,005	
除間伐	—	—	0.10	—	1.10	—	
搬出間伐	14.34	—	4.57	—	3.20	—	
改 植	—	—	—	—	—	—	
その他	—	—	—	—	—	—	—
(竹林整備)	—	—	—	—	—	—	—
計	35.28	367,444	44.06	911,202	30.42	505,005	
作業路	1,225	—	400	—	614.54	—	
合計	35.28	367,444	44.06	911,202	30.42	505,005	

国庫補助事業の対象となる搬出間伐を西山町有林で実施したが、町発注業務としたために、嵩上補助の対象とはなっていない。

③ 特認事業

林業後継者対策事業として、南木曾町林業研究クラブに350,000円を補助した。

④木材利用調査

町における森林・林業、木材産業による地域振興を検討する上で、地域に根差した木材利用の一つとして、木材利用の関連業界を中心とした地域内経済を支える事業者の意向等を把握するとともに、木材利用の課題を明らかにし南木曾町に適した持続可能な森林の活用方法を検討するために木材利用調査を行った。町内事業者80者に対してアンケート調査を行い、町内の森林・林業、木材産業、建築、建設事業者等からのメンバーで構成した懇談会を開催した。木材利用推進に向けた展望としては、全国的に見て特化係数がトップクラスの木材産業を有する当町において現在の状況を向上させるためには町内の利用拡大（需要・消費）によって、内部循環（地域循環）を高めることが必要であり、また良質な木材、伝統木材工芸品など「全国への供給」といった移出力を高める南木曾ブランドを築くことも重要である。現在計画・検討されている公共事業の建設は、町産材の利用、町内加工・施工を軸に町の経済波及効果などが期待される。

事業費 1, 188, 000円（地方創生推進交付金事業）

(イ) 植樹祭

10月4日、東山公園において、平成30年度木曾森林管理署南木曾支署・南木曾町合同植樹祭が開催されました。

開催日 平成30年10月4日

時間 午前10:00～11:30

場所 読書 東町 東山公園

参加者 町内外140人

ミツバツツジの苗50本を町内で生産された堆肥を混ぜながら植樹を行いました。

(ウ) その他

◎ みどりの募金

期間 4月1日～5月31日

募金額	253, 276円	内訳	世帯募金	229, 950円
			街頭募金	20, 673円
			職場等	2, 653円

◎ みどりの少年団

木曾地区みどりの少年団交流集会在、7月31日に王滝村松原スポーツ公園で開催され、南木曾小学校みどりの少年団が参加、林務担当職員もスタッフとして2名参加した。各少年団の活動発表、名札作り、野外活動をして交流、親交を深めた。

◎ 南木曾中学校体験学習

4月16日 椎茸植菌作業事前学習（講師：南木曾町森林組合）

25日 椎茸植菌作業 1年生対象に実施

10月16日 林業体験事前学習（講師：木曾地域振興局林務課）

10月24日 田立地区国有林内の学校林において、林業体験として間伐作業

◎ 森林の里親促進事業

福澤桃介が初代社長であり、愛知県名古屋市に本社のある、大同特殊鋼(株)がH28年度に創業100周年を記念して、福澤桃介ゆかりの地である南木曾町と森林の里親契約を締結していただきました。今年度も昨年度に引き続き、森林整備のために年100万円の寄付をいただき、大同特殊鋼(株)の社員の皆さんと共に山林整備を実施しました。

4月10日、5月15日 新人社員研修

10月30日 秋の間伐作業

(2) 町有林関係

(ア) 町有林造成事業

平成30年度の実施内容は以下のとおり

搬出間伐	(西山町有林)	14.34ha
保育間伐	(袖が沢町有林)	2.0ha
獣害防除	(袖が沢町有林)	2.0ha
丸太筋工	(下安町有林)	32m
除 伐	(天白町有林)	2.55ha
除 伐	(井戸沢町有林)	0.77ha
獣害防除	(田立学校林)	0.5ha

(イ) 山林委員会

町有林の管理・維持のため各地区に山林委員を委嘱している。

委員の方には 受け持ち林班の巡視を始め、町有林経営計画に基づく施業の確認、体験学習等の指導、関連事業の立ち会いをお願いしている。

山林委員名簿

委員長：楯 勇志 副委員長：田中 淳司

読書	楯 勇志	吾妻	亀山 寿幸	田立	小幡 征海
	田中 淳司		大蝶 正理		林 重利

任期：平成28年5月1日～令和2年4月30日まで 4年間

山林委員会は、2回開催した。

山林委員の町有林巡視を補助するため、南木曾町森林組合に巡視の一部を委託した。

(委託料：240,000円)

(3) 林道開設・改良等事業

(ア) 林道開設 実施なし

(イ) 林道改良 林道田の沢線改良事業

(ウ) 作業道開設

西山町有林搬出間伐業務に伴い搬出路として作業道を町有林内に開設した。

開設により高性能林業機械が侵入可能となり作業効率が向上した。

西山町有林作業道開設

H29年度繰越 延長400.0m、幅員3.0m

H30年度現年 延長825.0m、幅員3.0m

(4) カモシカ対策事業

民有林・国有林内におけるヒノキの幼齢木に対するカモシカの食害は、新植面積の減少により減る傾向にあるが、農作物を対象とした被害は拡大傾向となっており依然として被害は後を絶たない。

個体数調整事業は、第二種特定鳥獣管理計画に基づき被害状況から捕獲計画頭数を10頭としたが、長野県で精査した結果計画頭数が5頭となり捕獲実績も5頭となった。

(5) 森林病虫害等防除対策事業

・松くい虫防除対策

補助事業により南木曾町から大桑村への北上防止を実施するとともに、生活道路周辺の危険木と合わせ伐倒・くん蒸処理を実施した。

県補助事業により被害拡大防止に努めているが、北上防止を優先しており、大桑村町村境周辺のみ実施としている。このためその他地域では処理が進まず、町内の被害は拡大している。枯損木となり公共施設へ倒木することにより人身被害及び物損被害の懸念のある木については地権者の申請により伐採のみ町で実施している。

・カシノナガキクイムシ対策

県補助事業により、被害拡大防止に可能な範囲で実施している。

被害の拡大は一時沈静化の状況である。

(被害地域の被害対象となる大径木の大半が被害を受け枯損しているため、新たに枯れる対象が無くなっていると考えられる。)

(6) 有害鳥獣駆除事業

南木曾町有害鳥獣駆除対策協議会を3月27日に開催し、平成30年度の駆除実施計画、駆除班を編成し、実施した。

有害鳥獣の駆除・追払い等の活動を実施する、「有害鳥獣駆除従事者」は、南木曾町猟友会員のうち講習受講者61名の登録とした。

合わせて、「有害鳥獣駆除従事者」により「鳥獣被害防止実施隊」を編成し、有害駆除を実施した。

わな狩猟免許2名の新規資格取得費用の補助を行い有害駆除従事者・被害防止実施隊員の登録をした。

国補助事業により新町地区、町単補助により与川三区地区で緩衝帯を整備し、獣の移動ルートを寸断するとともに、隠れ場所を無くすことで出没防止を実施した。更にニホンザル用の捕獲檻5基、くくりワナ125基を購入し猟友会各支部へ配布した。

くくりワナを木曾森林管理署南木曾支署より30基借用、鳥獣被害対策実施隊でくくりワナ修理道具、資材一式を購入し年度内に全て配布した。

(7) 忠犬事業

忠犬による有害鳥獣の追い払い事業は、平成17年度から行われている。

平成30年度末までに本登録40頭が登録されている。

本年度は新規で2頭の申請がありました。

(8) 治山事業 (県事業)

(ア) 林地荒廃防止事業

H 3 0 現年 吾妻 米山沢 (本数調整伐2.45ha)

(イ) 復旧治山事業

H 2 9 繰越 吾妻 細野沢 (谷止工 2 基、流木防止対策312本)

H 2 9 繰越 読書 胡桃田沢・正善沢 (床固工 1 基、谷止工 1 基、護岸工 2 基)

(ウ) 予防治山事業

H 2 9 繰越 読書 柰平 (谷止工 3 基)

(9) 災害復旧事業

(ア) 補助災害分 なし

(イ) 町単災害分

林道梨子沢線ブロック積み復旧工
林道秋葉山線陥没復旧工
林道秋葉山線倒木処理
林道秋葉山線陥没復旧工
林道細野山線路肩復旧工
林道細野山線横断側溝下U字溝復旧工
夏焼作業道陥没復旧工
林道袖山線陥没復旧工

(ウ) 県単災害分 なし

平成30年度林務関係主要事業

単位：千円

事業名	事業主体	事業量 (ha)	事業費	左の財源内訳			備考
				国庫支出金	県出支金	地方債 その他	
林業振興事業補助金 (指導啓発事業)	森林組合		988			988	一般財源
林業振興事業補助金 (造林事業)	森林組合	12.27	367			367	
林業振興事業補助金 (特認事業)	林研クラブ		350			200	その他：寄付金
合計			1,705	0	0	1,555	

単位：千円

事業名	事業主体	事業量	事業費	左の財源内訳			備考
				国庫支出金	県出支金	地方債 その他	
町有林 造成事業	町	丸太筋工 32m	299		200	99	下安町有林 (田立塚野) その他：寄付金
		除伐 2.55ha	1,077		1,000	77	天白町有林 (読書天白) その他：寄付金
		除伐 0.77ha	258			258	井戸沢有林 (田立元組)
		保育間伐 獣害防除 2.0ha	1,090			1,090	袖が沢町有林 (読書和合)
		搬出間伐 14.34ha 作業道 825m	15,539	6,094	889	8,556	西山町有林 (吾妻大妻籠) H29繰越合 その他：上下流交流基金
		獣害防除 0.5ha	255			255	田立学校林 (田立塚野)
合計			18,518	6,094	2,089	10,335	

(3) 林道開設・改良・維持事業

ア 林道改良事業

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源内訳			備考
				国庫支出金	県支出金	地方債 その他 一般財源	
林道田の沢線改良工事	林道田の沢線	洗い、越工	3,996	0	0	0	3,996

イ 林道維持補修

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源内訳			備考
				国庫支出金	県支出金	地方債 その他 一般財源	
林道維持修繕	町内	維持修繕 橋梁点検	7,435	0	0	0	7,435

修繕 5路線、13カ所
長根線：路肩補修、播鉢線：倒木処理
袖山線：路面陥没補修、細野山線：横断工補修
大沢田線：整備工
橋梁点検 16橋

ウ 作業道開設

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源内訳			備考
				国庫支出金	県支出金	地方債 その他 一般財源	
西山町有林作業道開設	西山町有林	作業道 開設 400 m	1,776	0	800	93	883

上下流交流基金 76千円

(4) カモシカ対策事業

ア 事業費

単位：千円

事業名	実施箇所	事業量	事業費	左の財源内訳			備考
				国庫支出金	県支出金	地方債 その他 一般財源	
カモシカ個体数調整事業	町内一円	5頭	285	0	0	0	285

イ 捕獲実績

単位：頭数

年度	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
頭数	23	13	20	8	8	8	8	8	9	10	10	5

(5) 森林病虫害等防除対策事業

1) 松くい虫対策

ア 事業費

単位：千円

事業名	実施箇所	事業量 (m ³)	事業費	左の財源内訳				備考	
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他		一般財源
森林づくり推進支援金事業	町内一円	11.05	1,158		789			369	県民税事業
松林健全化推進事業		166.50	6,449		3,473			2,976	
(内 松くい虫被害)	三留野以北	(151.00)	(5,496)		(2,989)			(2,507)	
(内 ナラ枯被害)		(15.50)	(953)		(484)			(469)	
危険枯損木処理(松枯)	町内一円	8.95	242					242	地権者要望箇所対応
計		186.50	7,849	0	4,262	0	0	3,587	

イ 枯損木の伐倒燻蒸処理量

単位：m³

年度	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
処理量	66.19	91.74	135.00	135.00	155.00	5.25	10.59	8.93	5.00	2.00	104.11	65.62
年度	22	23	24	25	26	27	28	29	30			合計
処理量	57.21	84.94	134.16	225.40	491.67	201.65	291.42	253.27	186.50			2,710.65

(6) 有害鳥獣駆除事業

ア 事業費

単位：千円

事業名	実施箇所	事業量	事業費	左の財源内訳				備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源	
有害鳥獣対策事業	町内一円	一式	9,790				9,790	駆除報償金、くくりワナ購入等
鳥獣被害防止 緊急捕獲等対策交付	町内一円	一式	1,630		704		926	ニホンザル・ニホンジカ ・イノシシ 個体数調整
野生鳥獣総合管理対策事業	町内一円	一式	593		296		297	有害鳥獣捕獲者支援 ツキノワグマ放獣
鳥獣被害防止総合対策交付金	田立 塚野	一式	2,358		2,337		21	ワナ、檻購入 緩衝帯整備
忠犬による追い払い事業	町内一円	一式	400				400	訓練委託料 飼主傷害保険
計			14,771	0	3,337	0	11,434	

イ 有害鳥獣駆除数実績

単位：頭数

駆除対象鳥獣	サル	イノシシ	クマ	キジバト	カラス	ノウサギ	ハクビシン	タヌキ	カワウ アオサギ	単位：回数			アナグマ
										ニホンジカ	アライグマ	3月	
報酬単価	30,000	10,000	15,000	-	500	-	3,000	3,000	1,000	30,000	3,000	-	-
有害期間許可頭数等	100	220	8	20	10	5	65	65	10	76	5	20	20
有害対象期間捕獲頭数	41	122	8	0	0	1	41	49	0	41	0	0	10
狩猟期間捕獲頭数	30	75	0	0	1	0	0	9	0	22	2	1	1
駆除合計	71	197	8	0	1	1	41	58	0	63	2	2	11
(前年度駆除頭数)	58	196	3	0	0	0	28	53	1	64	2	2	10

ウ 熊の出没回数

単位：回数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成30年	2	9	14	14	9	10	1	0	0	0	0	0	59
平成29年	1	1	0	0	5	8	0	1	0	1	0	0	17

エ 忠犬登録実績

単位：頭数

	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
読 書	9	18	22	23	26	26	26	27	25
与川一区	1	2	2	2	2	2	2	2	2
与川三区		2	2	2	2	2	2	2	2
与川五区		1	2	2	2	2	2	2	2
十二兼		1	1	1	1	1	1	1	1
本谷	2	2	1	1	1	1	1	1	1
岩倉		1	1	1	1	1	1	1	1
戸場	2	2	3	3	3	3	3	3	1
川向		2	3	4	5	5	5	5	5
沼田					1	1	1	1	1
上の原	3	4	4	4	5	5	5	5	5
和合北								1	1
新町			1	1	1	1	1	1	1
東町	1	1	2	2	2	2	2	2	2
吾 妻	4	5	7	7	7	7	6	6	6
中町		1	1	1	1	1	1	1	1
橋場			1	1	1	1	1	1	1
大妻籠	3	3	3	3	4	4	3	3	3
下り谷	1	1	1	1					
口広瀬			1	1	1	1	1	1	1
田 立	6	6	7	9	9	9	9	8	9
元組	1	1	1	1	1	1	1	1	1
向栗畑	1	2	3	3	3	3	3	3	2
栗畑	1	1	1	1	1	1	1	1	1
下切	1	1	1	1	1	1	1	1	1
大野正兼	1	1	2	2	2	2	1	1	1
塚野	1	1	1	1	1	1	1	1	3
合 計	15	17	19	30	38	39	42	41	40

(7) 治山事業費

ア 県事業分 (H30年度完了分)

単位：千円

事業名	実施箇所	事業及び事業量		備考
復旧治山事業 (H29繰越)	胡桃田沢 正善沢	床固工 (コンクリート) 谷止工 (コンクリート) 護岸工 (巨石練積)	1基 1基 2基	請負金額 77,069千円
予防治山事業 (H29繰越)	杵平	谷止工 (コンクリート)	3基	請負金額 43,870千円
復旧治山事業 (H29繰越)	細野沢	谷止工 (コンクリート) 流木防止対策	2基 312本	請負金額 58,266千円
林地荒廃防止事業 (H30現年)	米山沢	本数調整伐	2.45ha	請負金額 3,326千円

(8) 災害復旧事業費

ア 県単独事業分 (H30年度完了分)

単位：千円

事業名	実施箇所	事業及び事業量		備考
なし				

イ 町単独事業分 (H30年度完了分)

単位：千円

事業名	実施箇所	事業及び事業量		備考
作業道災害復旧	夏焼作業道	路面陥没復旧工		請負金額 496千円
林道災害復旧	細野山線	U字溝復旧工		請負金額 226千円
		路肩陥没復旧工		請負金額 172千円
		倒木処理工		請負金額 71千円
	袖山線	路面陥没復旧工		請負金額 302千円
	秋葉山線	路面陥没復旧工		請負金額 410千円
		倒木処理工		請負金額 194千円
	梨子沢線	ブロック積工		請負金額 324千円